

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公表番号】特表 2008-536426 (P2008-536426A)
 【公表日】平成 20 年 9 月 4 日 (2008.9.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-035
 【出願番号】特願 2008-505974 (P2008-505974)
 【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線フレームと、該無線フレームの少なくとも一つに設定される少なくとも二つの異なるガードインタバルと、トレーニングシンボル並びにその後に続く前記ガードインタバルの一つ及びシステム情報用シンボルを含む 1 又は複数の前記無線フレームと、を送信するように構成した送信器と、

前記各シンボルを更に処理できるようにするため、前記トレーニングシンボル後の前記システム情報の位置を判定するように構成したプロセッサであって、前記システム情報は前記ガードインタバルの少なくとも一つの長さを示すプロセッサと、
を備える装置。

【請求項 2】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送する少なくともいくつかのビットが、前記システム情報を搬送する少なくともいくつかのビットとして変調シンボルにマップされるように更に構成する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送するすべてのビットが、前記システム情報を搬送するどのビットとも異なる変調シンボルにマップされるように更に構成する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

変調シンボルに先行する固定長ガードインタバルは所定長のインタバルであり、前記ガードインタバルの少なくとも一つを示すシステム情報を搬送するビットが前記変調シンボルにマップされるように更に構成する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

少なくとも一つの副チャネルに対して、ペイロード情報を搬送する少なくともいくつかのビットを、トレーニングシーケンスの後、かつ前記システム情報を搬送するどのシンボルよりも前に送信される変調シンボルにマップするように更に構成する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記ガードインタバルの少なくとも一つが巡回プレフィクスを含むように更に構成する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記システム情報はトレーニングシーケンスをも搬送する変調シンボルによって前記トレーニングシーケンスの直後に搬送され、前記トレーニングシーケンスと前記システム情報とを分離する所定長がゼロであるように更に構成する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の装置を備える無線通信システムの無線接続ネットワーク要素であって、前記送信器は変調搬送波信号に反応して変調搬送波を無線で送信する無線接続ネットワーク要素。

【請求項 9】

無線フレームと、該無線フレームの少なくとも一つに設定される少なくとも二つの異なるガードインタバルと、トレーニングシンボル並びにその後続く前記ガードインタバルの一つ及びシステム情報用シンボルを含む 1 又は複数の前記無線フレームと、を送信するステップと、

前記各シンボルを更に処理できるようにするため、前記トレーニングシンボル後の前記システム情報の位置を判定するステップであって、前記システム情報は前記ガードインタバルの少なくとも一つの長さを示すステップと、
を有する方法。

【請求項 10】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送する少なくともいくつかのビットが、前記システム情報を搬送する少なくともいくつかのビットとして変調シンボルにマップされる請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送するすべてのビットが、前記システム情報を搬送するどのビットとも異なる変調シンボルにマップされる請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

変調シンボルに先行する固定長ガードインタバルは所定長のインタバルであり、少なくともペイロード変調シンボルの前に置かれたガードインタバルを示すシステム情報を搬送するビットが変調中に前記変調シンボルにマップされる請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

少なくとも一つの副チャネルに対して、ペイロード情報を搬送する少なくともいくつかのビットを、トレーニングシーケンスの後、かつ前記システム情報を搬送するどのシンボルよりも前に送信される変調シンボルにマップする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

前記ガードインタバルの少なくとも一つが巡回プレフィックスを含む請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

前記システム情報がトレーニングシーケンスをも搬送する変調シンボルによって前記トレーニングシーケンスの直後に搬送され、前記トレーニングシーケンスと前記システム情報とを分離する所定長がゼロであるようにする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 16】

計算機プロセッサが実行する計算機プログラムコードを組み込んだ計算機可読記憶媒体であって、前記計算機プログラムコードは請求項 9 に記載の方法を実行する命令を含む計算機可読記憶媒体。

【請求項 17】

無線フレームと、該無線フレームの少なくとも一つに設定される少なくとも二つの異なるガードインタバルと、トレーニングシンボル並びにその後続く前記ガードインタバルの一つ及びシステム情報用シンボルを含む 1 又は複数の前記無線フレームと、を受信するように構成した受信器と、

前記各シンボルを更に処理できるようにするため、前記トレーニングシンボル後の前記

システム情報の位置を判定するように構成したプロセッサであって、前記システム情報は前記ガードインタバルの少なくとも一つの長さを示すプロセッサと、を備える装置。

【請求項 18】

前記システム情報から前記ガードインタバルの長さを示す情報を得るように更に構成する請求項 17 に記載の装置。

【請求項 19】

ペイロードシンボルを復調する際に、前記ガードインタバルの長さを示す情報を用いるように更に構成する請求項 18 に記載の装置。

【請求項 20】

請求項 17 に記載の装置を備える移動機であって、前記受信器は変調搬送波信号を受信するように構成する移動機。

【請求項 21】

無線フレームと、該無線フレームの少なくとも一つに設定される少なくとも二つの異なるガードインタバルと、トレーニングシンボル並びにその後続く前記ガードインタバルの一つ及びシステム情報用シンボルを含む 1 又は複数の前記無線フレームと、を受信するステップと、

前記各シンボルを更に処理できるようにするため、前記トレーニングシンボル後の前記システム情報の位置を判定するステップであって、前記システム情報は前記ガードインタバルの少なくとも一つの長さを示すステップと、を有する方法。

【請求項 22】

前記システム情報から前記ガードインタバルの長さを示す情報を得るステップを更に有する請求項 21 に記載の方法。

【請求項 23】

ペイロードシンボルを復調する際に、前記ガードインタバルの長さを示す情報を用いるステップを更に有する請求項 22 に記載の方法。

【請求項 24】

計算機プロセッサが実行する計算機プログラムコードを組み込んだ計算機可読記憶媒体であって、前記計算機プログラムコードは請求項 21 に記載の方法を実行する命令を含む計算機可読記憶媒体。

【請求項 25】

少なくとも一つの移動機と通信するように構成した少なくとも一つの要素を含む無線接続ネットワークと、前記少なくとも一つの移動機を備え、前記の無線接続ネットワーク要素は請求項 1 に記載の装置を含むシステム。

【請求項 26】

少なくとも一つの移動機と通信するように構成した少なくとも一つの要素を含む無線接続ネットワークと、前記少なくとも一つの移動機を備え、前記移動機は請求項 1 に記載の装置を含むシステム。

【請求項 27】

請求項 9 に記載の方法によって動作するようにした特定用途集積回路。

【請求項 28】

請求項 21 に記載の方法によって動作するようにした特定用途集積回路。

【請求項 29】

無線フレームと、該無線フレームの少なくとも一つに設定される少なくとも二つの異なるガードインタバルと、トレーニングシンボル並びにその後続く前記ガードインタバルの一つ及びシステム情報用シンボルを含む 1 又は複数の前記無線フレームと、を送信する手段と、

前記各シンボルを更に処理できるようにするため、前記トレーニングシンボル後の前記システム情報の位置を判定する手段であって、前記システム情報は前記ガードインタバル

の少なくとも一つの長さを示す手段と、
を備える装置。

【請求項 30】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送する少なくともいくつかのビットが、前記システム情報を搬送する少なくともいくつかのビットとして変調シンボルにマップされるように更に構成する請求項 29 に記載の装置。

【請求項 31】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送するすべてのビットが、前記システム情報を搬送するどのビットとも異なる変調シンボルにマップされるように更に構成する請求項 29 に記載の装置。

【請求項 32】

無線フレームと、該無線フレームの少なくとも一つに設定される少なくとも二つの異なるガードインタバルと、トレーニングシンボル並びにその後続く前記ガードインタバルの一つ及びシステム情報用シンボルを含む 1 又は複数の前記無線フレームと、を受信する手段と、

前記各シンボルを更に処理できるようにするため、前記トレーニングシンボル後の前記システム情報の位置を判定する手段であって、前記システム情報は前記ガードインタバルの少なくとも一つの長さを示す手段と、
を備える装置。

【請求項 33】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送する少なくともいくつかのビットが、前記システム情報を搬送する少なくともいくつかのビットとして変調シンボルにマップされるように更に構成する請求項 32 に記載の装置。

【請求項 34】

少なくとも一つの副チャネルに対して、トレーニングシーケンスを搬送するすべてのビットが、前記システム情報を搬送するどのビットとも異なる変調シンボルにマップされるように更に構成する請求項 33 に記載の装置。